



# 浅野 大介

経済産業省 産業資金課長 (兼)投資機構室長 (兼職)東京大学公共政策大学院 非常勤講師(教育政策・教育法)



2001年 東京大学大学院法学政治学研究科修了後、経済産業省入省。

石油産業、国際物流、地域経済・中小企業、知的財産等の業務を担当後 2018年よりサービス政策課長(兼)教育産業室長

「未来の教室」プロジェクト、1人1台端末環境整備「GIGAスクール構想」

2021年よりデジタル庁参事官に併任

GIGAスクール構想を土台にした「教育DX」を企画・推進

2021年よりサービス政策課(兼)教育産業室長(兼)スポーツ産業室長

DX時代のプロスポーツ事業環境整備「スポーツDX」

部活動地域移行に備えたスポーツ事業環境整備「**未来のブカツ**」

2022年より、現職で官民ファンド(VC/PE)、資本市場改革、暗号資産・Web3を担当

## 経産省「未来の教室」プロジェクトと文科省「GIGAスクール構想」の歩み

STEP 0 2020年代の学習指導要領 2017年告示 : 文部科学省

STEP1 「未来の教室」実証事業:「1人1台」先進事例創出のフェーズ 2018年度~ :経済産業省

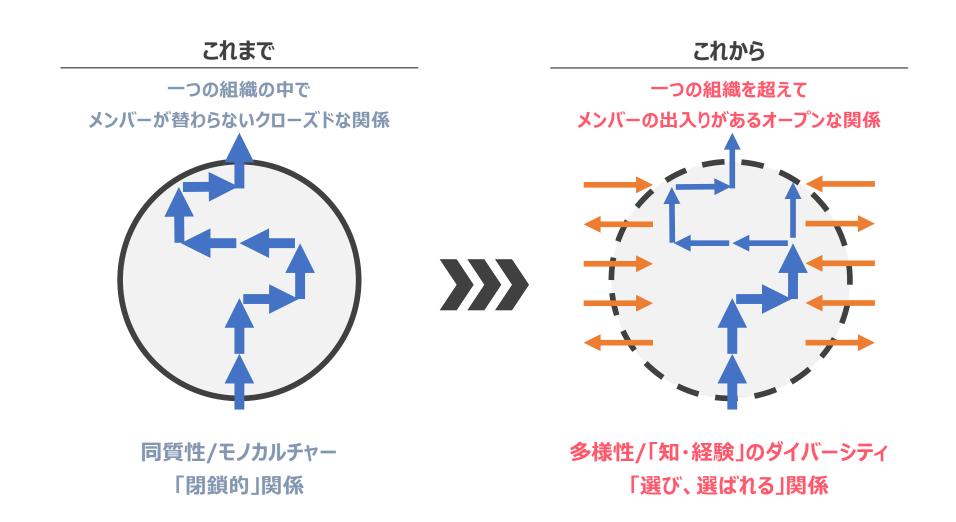
STEP2 「GIGAスクール構想」: 国庫補助投入で「1人1台端末」環境を創出 2019年度~ : 文部科学省(高校1人1台は道半ば)

STEP3 「未来の教室」EdTech導入補助金・STEAMライブラリ: ソフトの普及 2019年度〜 : 経済産業省

「デジタル庁」発足:教育データ活用のロードマップ公表 2021年度~:デジタル庁・文部科学書・経済産業省・総務省

## 人的資本経営により、働き手と組織の関係は、

## 「閉鎖的」関係から「選び、選ばれる」関係へと変化していくべき。



2050年目線では、仮想空間上のアバターや遠隔操作するロボット、

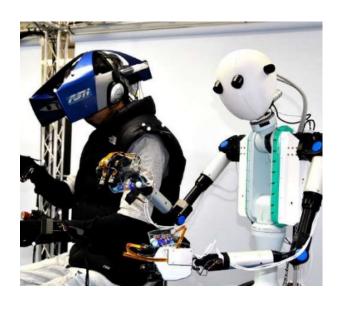
人の身体的能力や知覚能力を拡張する技術が普及する中、

付加価値の源泉や労働形態のあり方が根本から変わるだろう。

### 仮想空間上のオフィスとアバター



ロボットと遠隔操縦者



### 身体的能力の拡張



それは、身体や脳、空間や時間の制約がなくなっていく過程でもある。 その過程では、「働くこと」の意味や「組織」の意味付け自体が 問い直され、働き方を規律する法体系やセーフティネットの在り方も 根本から見直される可能性がある。

こうした未来への備えとしては、

働き手の自律性を高める方向性がやはり望ましい。

新たな未来を牽引する人材が求められる。

それは、好きなことにのめり込んで豊かな発想や専門性を身に付け、

多様な他者と協働しながら、新たな価値やビジョンを創造し、

社会課題や生活課題に「新しい解」を生み出せる人材である。

そうした人材は、「育てられる」のではなく、

ある一定の環境の中で「自ら育つ」という視点が重要となる。

# OECD加盟国中、日本の15歳の数学的・科学的リテラシーはトップレベル。 日本の子どもは、未来を切り拓く素晴らしい可能性を秘めている。

### 数学的リテラシーのランキング

#### 国名 平均得点 順位 日本 **527** 韓国 526 3 Tスト<sup>-</sup>ア 523 オランダ 4 519 5 ポーランド 516 6 スイス 515 カナダ 512 デンマーク 509 スロベーア 9 509 ベルギー 10 508 OECD平均 489

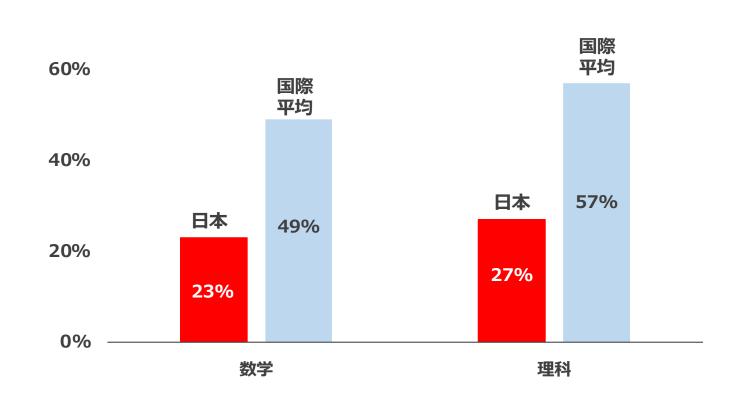
### 科学的リテラシーのランキング

順位	国名	平均得点
1	エストニア	530
2	日本	529
3	フィンランド	522
4	韓国	519
5	カナダ	518
6	ポーランド	511
7	ニュージーランド	508
8	スロベニア	507
9	イギリス	505
10	オランダ	503
	OECD平均	489

<sup>(</sup>注) 義務教育修了の目安となる15歳を対象に、これまでに身に付けてきた知識や技能を、実生活の様々な場面で直面する課題にどの程度活用できるかを測るもの。 (出所) OECD生徒の学習到達度調査 (PISA) 2018年調査を基に経済産業省が作成。

# しかし、「数学や理科を使う職業につきたい」と思う子どもは少なく、 高い数学的・科学的リテラシーが十分に活かされていない。

### 「数学」や「理科」を使うことが含まれる職業につきたい生徒(中学生)の割合

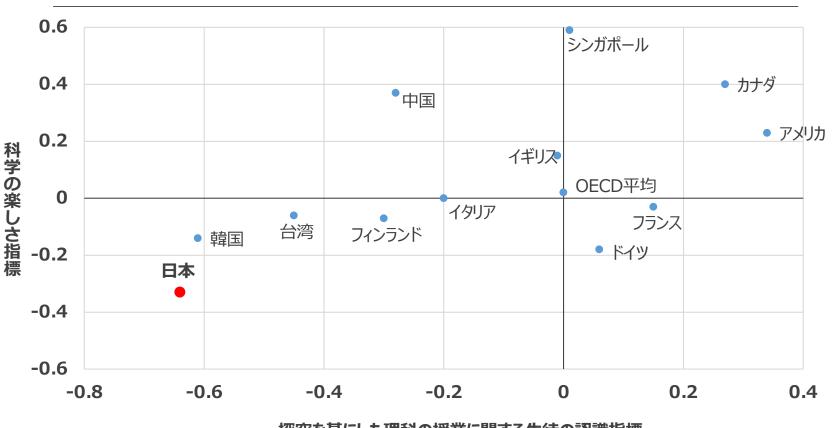


<sup>(</sup>注) 数値は「強くそう思う」「そう思う」と回答した生徒の小数点第一位までの割合を合計し、さらにその小数点第一位を四捨五入したもの。 (出所) 文部科学省「国際数学・理科教育動向調査(TIMSS2019)のポイント」を基に経済産業省が作成。

## 日本は、探究的な(正解のない)理科学習が少なく、

## 子どもたちが「科学の楽しさを感じる」機会に乏しいのではないか。

### 科学の楽しさ指標と、探究を基にした理科の授業に関する生徒の認識指数の関係

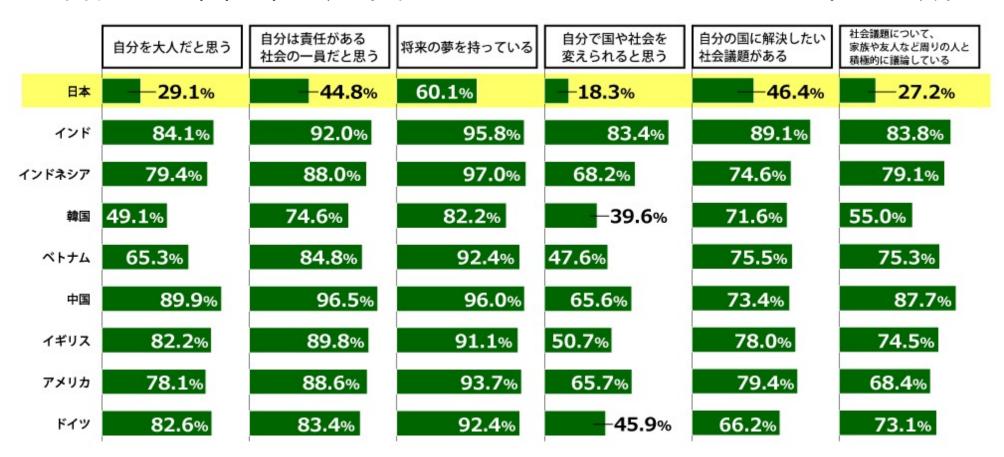


探究を基にした理科の授業に関する生徒の認識指標

- (注1)「探究を基にした理科の授業に関する生徒の認識指標」は、その値が大きいほど、生徒が理科の授業が探究を基にした授業であると認識していることを意味する。
- (注2) 中国は北京・上海・江蘇・広東を指す。
- (出所)国立教育政策研究所「生きるための知識と技能 OECD生徒の学習到達度調査 (PISA) 2015年調査国際結果報告書」を基に経済産業省が作成。

これが本当に「日本の18歳像」である場合、 教育が一人ひとりの「主体性・当事者意識」を涵養する場に転換しない限り、 日本は何も解決できず、価値を生み出せない社会になっていくのではないか。

## 自分では国や社会を変えられないと思っている日本の18歳



※日本財団「18歳意識調査『第20回-社会や国に対する意識調査』要約版」(2019年11月30日)をもとに作成

# 「主体的・対話的で深い学び」の実現

文科省が2017年改定学習指導要領で示したスローガン。 耳触りがよく、「そりゃそうだよ」と聞き流しそうだが、 これを次のように「読み替え」してみると、とても聞き流せなくなる。

# 「受動的・一方的で浅い学び」の終焉

ガーン。とても聞き流していられない。 そういうことだったのかと。

# 子どもの学び方は、「将来の大人の働き方」の準備

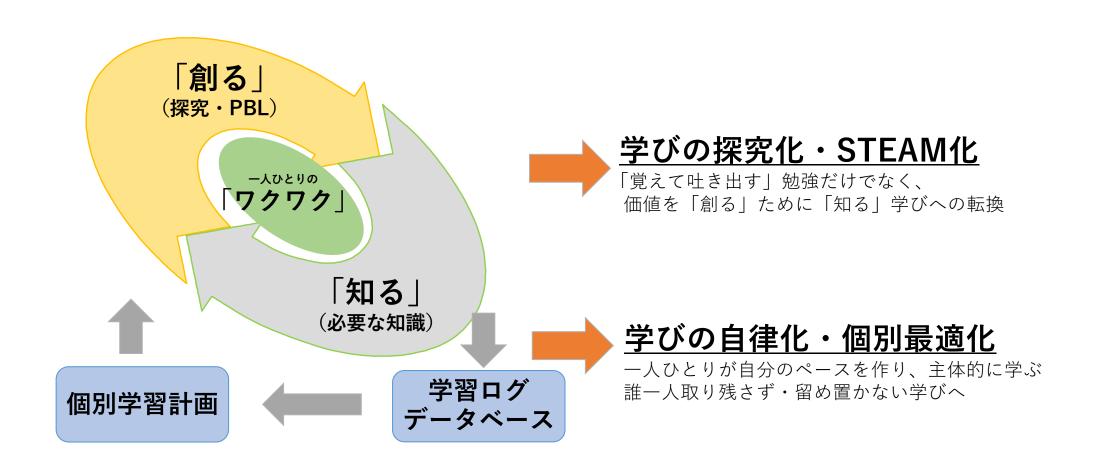
- ・「お互いの事情」を尊重できる働き方
- ・「一人ひとりの潜在能力」を無駄にしない働き方
- ・「唯一解のない問題」に向かう働き方
- ・「社内外・国内外の知恵」を組み合わせる働き方
- ・「ネットとリアル」を自在に行き来する働き方

→経産省チームの立場から GIGAスクール構想の実現に込めた想いは、ここにある。

# 教育DX(デジタル・トランスフォーメーション)とは、 「学び方の組み合わせ自在化」と「データ利活用」

	対 面	オンライン
	必要を感じて、 職員室に質問しに行く	分かるまで、繰り返し、 講義動画やドリルで知識を習得
オン・デマンド (必要な時に)		The state of the s
	場に集まって、議論する 人の話を聞く	ZOOMで国境・地域・学校 を越えて議論する
ライブ		

## 経済産業省「未来の教室」プロジェクト



# 「学びの自律化・個別最適化」:「自己調整」のパーソナル・トレーニングの重視

## 「みんな違う」「約束と習慣」「データ重視」















決められた教室・学年の中で、

「一律の目標のもとで」

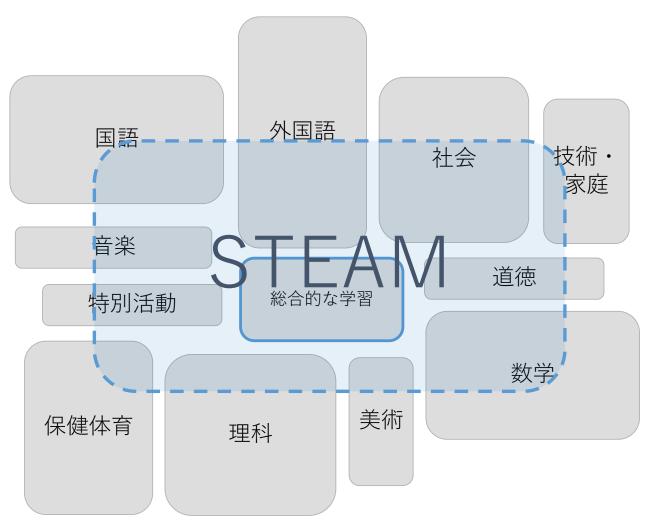
「一律の内容を」「一律のペースで」

「一斉に」「受け身で」学ぶ

居場所や学年や時間の制約を必ずしも受けず、「自分の個人目標と選択をもとに」 「多様な内容を」「多様なペースで」 「個別に、時に協働的に」「能動的に」学ぶ

## 「学びの探究化·STEAM化」

「学びの探究化・STEAM化」の究極形は、「総合」や「○○探究」の時間のみならず、関連する教科の時数・単位も合科されるなど、必要な十分な時間を用いた学際研究が日々展開されている状態。



## 2018-19年度「未来の教室」実証事業 中学数学の標準授業時数内で「創る」と「知る」を循環(麹町中モデル)



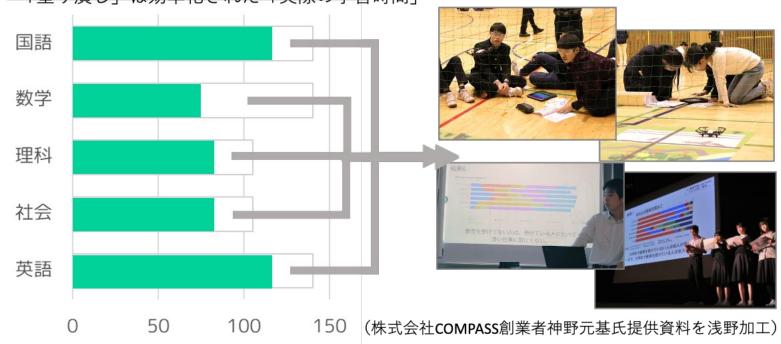




### AI型教材で知識・技能を効率よく習得

「外枠」が中学1年の「各教科の標準授業時数」 「塗り潰し」は効率化された「実際の学習時間」

生まれた「余裕時間」を集めて 「教科横断型(STEAM)の探究」



### 2019-21年度「未来の教室」実証事業

地方のスタンダードな公立高校に AI 教材を導入 「学びの個別最適化」を実現 (長野県坂城高校+すららネット)



 びとりひとりの理解度・学習ペースにあわせた授業

 従来
 すららを利用

 単元A
 単元A

 単元A
 単元A

 単元A
 単元A

 単元A
 単元A

 単元A
 単元A

 単元A
 単元B

 ・
 ・

 ・
 ・

 ・
 ・

 ・
 ・

 ・
 ・

 ・
 ・

 ・
 ・

 ・
 ・

 ・
 ・

 ・
 ・

 ・
 ・

 ・
 ・

 ・
 ・

 ・
 ・

 ・
 ・

 ・
 ・

 ・
 ・

 ・
 ・

 ・
 ・

 ・
 ・

 ・
 ・

 ・
 ・

 ・
 ・

 ・
 ・

 ・
 ・

 ・
 ・

 ・
 ・

 ・
 ・

 ・
 ・

 ・

1時間かけてゆっく り単元Aを学習 単元Aと、その基礎 となる単元aの復習 単元Aと、その応用 となる単元Bを学習

### 変化の一例

### 生徒に達成感(やればできる)

▶自己効力感を高めた生徒が増加

### 学習状況や隠れた努力が見える

▶ひとりひとりに適した指導・課題出題が可能に

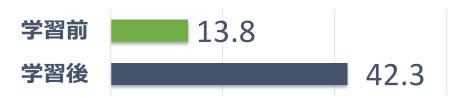
### 教室外でも使用可能な端末

▶ 家で勉強しなかった生徒が、自宅学習も習慣化

### 学習に要する時間の比較



### 学習前後のテスト結果(英語)



## 進路目標と関連づけた個別学習計画の策定

**坂城高校は高卒就職する生徒がメインであるため、受験勉強を教科学習の動機付けにはできない**。そこで、 生徒の進路目標立案を支援しつつ、進路目標に紐づく教科の単元をレコメンドし、個別学習計画を策定した。

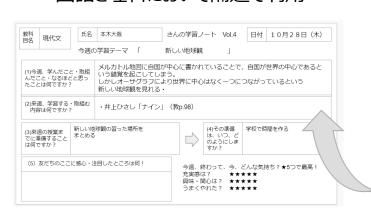
進路目標に紐づく個別学習計画の策定

### **進路目標を立てる**ため「キャリアノート」を作成



### 学んだ内容の振り返り、次回までに するべきことを整理する。

国語と理科において隔週で利用



### 進路目標と教科を紐づけ

「すららプレイリスト」を活用

企業種	関連スキル		
地理と産業	社会: 気候からつかむ農業 工業の立地		
工業系	理科: 金属と非金属、 エネルギーとその利用		
医療福祉	理科: 感覚器官のつくり 運動のしくみ		

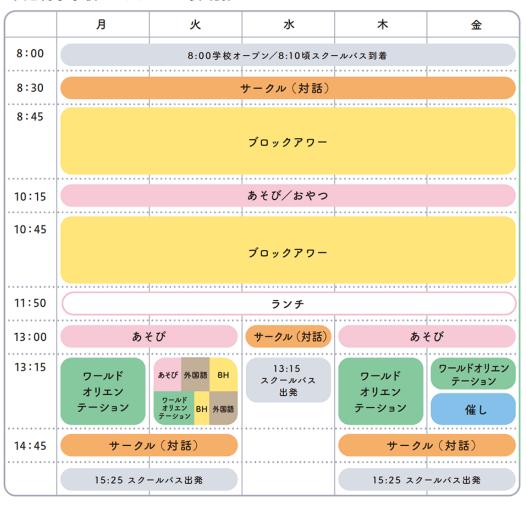
個別化された筋トレ・基礎練

集団でこそできるゲーム形式の練習

## 事例1 茂来学園大日向小学校(イエナプラン)

### 日本のイエナプランスクールの時間割 (茂来学園大日向小学校 HPより)

大日向小学校のスケジュール表 (例)







「ブロックアワー」:毎週の各人の学習計画で自己調整的に学ぶ(各教科の基礎学習など) 「ワールドオリエンテーション」:身近な生活課題から地球規模の社会課題まで。ここでの問いを深めるためにも、ブロックアワーでも必要な知識を得る。

「リビングルーム」:「教室」は移動可能な什器に囲まれたリビングルームのような場所。

## 事例 2 岐阜市草潤中学校(不登校特例校)

家庭学習・オンライン学習と、登校しての学習の「組み合わせ」が可能になっている。時間・場所を選んで組み合わせて過ごすことができる。 生徒数40人に対して教員17人(教職員全体26人)。 標準授業時数は1015時間から770時間に圧縮されている。 (今後、EdTechの活用や、個別学習計画・学習ログの活用はどうなるか)

### 7 日課表①(家庭での学習を基本にするコースのモデル)

	50 分授業		月	火	水	木	金
始業	9:30						
1	9:35~9:45		Online によるウォームアップ				
2	9:55~10:45		家庭学習	家庭学習	家庭学習	家庭学習	家庭学習
3	10:55~11:45		家庭学習	家庭学習	家庭学習	家庭学習	家庭学習
昼食	11:50~12:15	私は、基本は、家庭で学習!					
昼休み	12:15~12:30	Online や電話で相談するよ。					
4	12:30~13:20		家庭学習	家庭学習	家庭学習	家庭学習	学習相談
5	13:30~14:20		Online 学習	Online 学習	Online 学習	Online 学習	学習相談
6	14:25~14:35		Online によるクールダウン				
終業	14:35	2週間に1度程度 学習相談として登校					

### 7 日課表②(家庭で学習し、週に数日登校するコースのモデル)

	50 分授業	月	火	水	木	金
始業	9:30					
1	9 : 35~9:45	Online ウォーム アップ	ウォーム アップ	Online ウォーム アップ	ウォーム アップ	Online ウォーム アップ
2	9:55~10:45	家庭学習	国語	家庭学習	英語	家庭学習
3	10:55~11:45	家庭学習	数学	家庭学習	理科 社会	家庭学習
昼食	11:50~12:15					
昼休み	12:15~12:30	私は火	私は火曜日と木曜日に登校するよ!			
4	12:30~13:20	家庭学習	セルフ デザイン	家庭学習	総合	家庭学習
5	13:30~14:20	Online 学習	セルフ デザイン	Online 学習	総合	Online 学習
6	14:25~14:35	Online クール ダウン	クール ダウン	Online クール ダウン	クール ダウン	Online クール ダウン
終業	14:35	1週間に 2 日程度の登校				





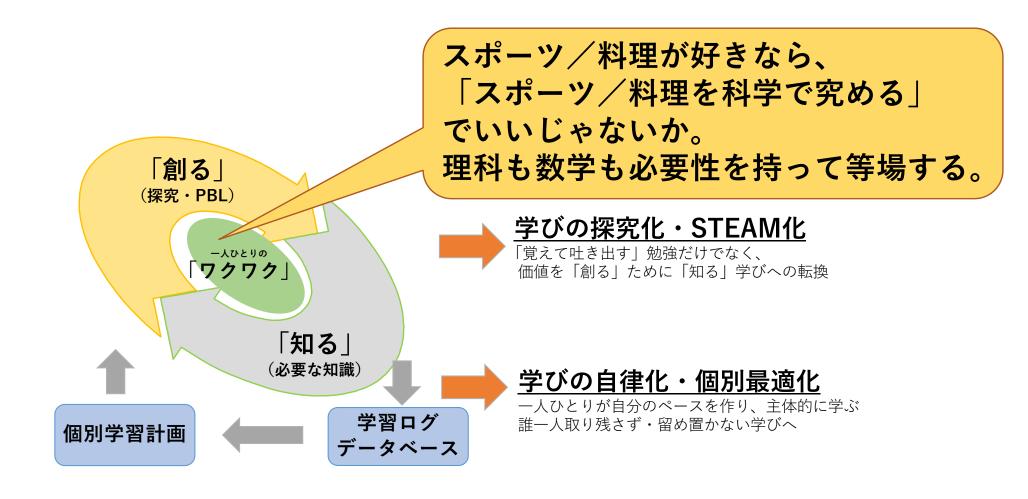




# キーワードは「特例の一般化」

たくさんのイノベーティブな特例を普通にする 不登校特例校 特別支援学校 教育課程特例校 通信制・単位制高校の通学コース

# 経済産業省「未来の教室」プロジェクト



# タグ・ラグビーの数理(STEAM Sports Laboratoryとの事業)

【1対1で抜き合いを体験】

「どれくらいの間合いで仕掛けると抜けるかな??」





【ゲーム戦略を体験】

「どこを攻めるか?パスかランか?」





### 【碁盤ゲームで1対1を分析】

抜ける間合いを探る→法則が見えてくる

1

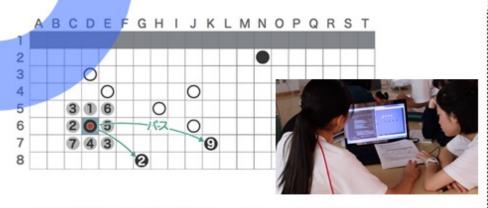
´ 碁盤ゲームで擬似再現!

黒→白→黒→…の順に動かす。

毎回、「上・下・左・右・右上・右下・左上・左下に 一歩動くか、動かない」という9通りの選択肢あり。 タッチラインを越えて碁盤の外に出てはいけない。

- ・黒石は白石の上に乗ってはいけない
- ・黒石に白石を重ね、「タグ」と叫ぶ
- ・黒石がゴールラインを越え「トライ」と叫ぶ → Δチーム(里)の勝ち

## 【プログラミングで戦略シミュレーション】



それぞれの行動に評価値をつけて、一番高い点の場所を選ぶ

### 静岡聖光学院中高のラグビー部の事例

■ 制限された活動日数と極めて短い練習時間、試合形式とミーティングが重視されたトレーニング内容により、選手の主体性を大事にしつつ、「思考の質で勝つ」姿勢で部活運営がなされている。

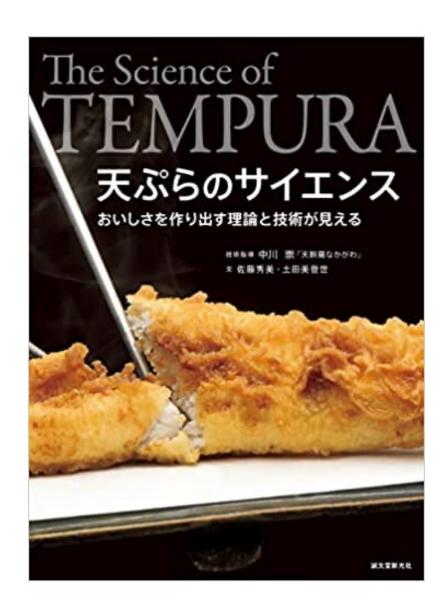
<トーク&フィックスの様子>







- 活動日: 週3回火・木・土の放課後
- 活動時間:1日90分(2月—10月)や60分(11月—1月)
- ラグビーでは一連のプレーが90秒から120秒続くことが多く、トライが決まるとゴールキックの待ち時間で90秒ほど話し合う時間がある。そこで「インプレイ90秒+話し合い90秒」をワンセットで考えて練習時間も設計される。
- 選手たちは90秒激しく動いて息の上がった状態でも、次の90秒で「トーク&フィックス(話して、情報を整理して、次の行動方針を決める)」と呼ばれる、きちんとフォーマット化された短いミーティングの中で、次にとるアクションを意思決定する。



天麩羅なかがわ 中川崇氏

### 序章 天ぷらの歴史

第1章 天ぷらダネ 魚介類/野菜類/江戸前とは/天ぷらダネカレンダー

第2章 道具 鍋/道具/片刃包丁

### 第3章 下処理

鱚/穴子/目鯒/墨烏賊/障泥烏賊/〔技を見る〕薄皮をとり、繊維をとらえる/鮑/ 沙魚/銀宝/銀杏

#### 第4章 衣

小麦粉/卵と水/衣をつくる/衣の調整/〔技を見る〕衣の濃度やつけ方の意識/ 〔技を見る〕衣を扱う際の工夫

### 第5章油

揚げ油/ゴマ油/揚げ油のいろいろ/準備:天つゆ/準備:大根おろし/敷紙

### 第6章 揚げる

揚げる/魚介の天ぷら/車海老/〔技を見る〕クルマエビの天ぷら2本の揚げ分け/〔技を見る〕混ぜる油の配合、「油の力」の調整、揚げ玉で温度をコントロール/鱚/墨烏賊/障泥烏賊/穴子/白魚/鱈白子/河豚白子/稚鮎/岩牡蠣/鱧/沙魚/銀宝/目鯒/雲丹/鮑/野菜/銀杏/万願寺唐辛子/薩摩芋/南瓜/アスパラガス/モロッコ隠元/茄子/ペコロス/蓮根/谷中生姜/山菜・松茸を揚げる/蕗の薹/山独活/こごみ/松茸/舞茸/天ぷらの動作

### 第7章 かき揚げ

貝柱/〔技を見る〕天ぷらの表と裏/芝海老/締めのごはん/定食/天丼/天茶/油の 処理/索引

### Science

鍋と道具…材質・鍋の厚みと形状・粉箸/魚介の筋肉…魚の筋肉・エビの筋肉・イカの筋肉/魚介を揚げたときの変化/小麦粉…日本の小麦粉の種類・グルテンとは・天ぷら衣とグルテン/油…油とは?・油の風味/揚げる…揚げるとは、水と油の交代現象・揚げる過程における熱の伝わり、油の劣化とは?・油の発煙点/江戸前の魚…江戸前の魚の筋肉・ホロホロした食感の秘密/サツマイモを揚げる

### 揚げる Deep Frying

# Science

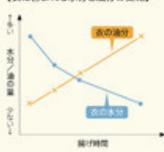
### 揚げるとは、水と油の交代現象

表示らを掲げる過程では、衣の水分が悪発し、水分 の飯けたところに辿が入り込むという「水と油の交 代税象」が起こっています。衣の水分が十分に抜け、 油が水分が抜けたところにしっかり入りこんだ衣 は、サクッとした軽きを感じます。逆に、衣から水 分が十分に抜けず、油が衣のなかに入り込んでいな い衣はベタッとして置きを感じます。

水と油が十分に交代していない衣が「ベタッと重く 感じる」理由は、油が衣の表面に付着しており、口に 入れたときに口中の起展に油が直接触れるからで す。水と油がしっかり交代していれば、衣のなかに 入り込んでいる油は口中の粘膜に直接触れないた め、衣の乾燥気味のサクッとした食感を「衣の軽さ」 として感じます。

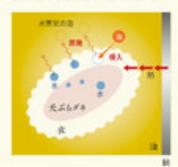
表に包まれた食材は、衣のなかで用されている状態 です。このため、野菜の場合にはその農味や甘味など、 魚介質の場合には食材にそのまま残るうま味など、 その食材の持ち味を十分に味わえます。

#### [衣に含まれる水分と油分の変化]



表の水分は除け時間が長くなるにつれて減って いくいっぽうで、表の油の間は多くなっていき ます。

#### 【衣でおこる水と油の"交代現象"】

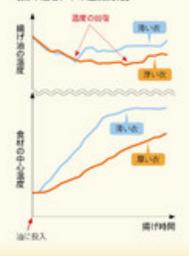


### 揚げる過程における熱の伝わり

天ぶらは、成分や性状が全く異なる衣とタ ネを同じ温度、同じ時間でそれぞれが適し た状態になることが求められるため、衣と タネへの勢の伝わり方を揺まえて開げるこ とが重要です。

探げる過程では、既が受けた前は油を介し て衣からタネへと伝わります。 探げ始めは 油の熱で衣の温度が上がり、衣が100℃に なると熱のほとんどは衣の水分乗発に使わ れます。 この間、タネの温度はほとんど上 がりません。 衣の水分が抜けてくると、衣 からタネに熱が伝わるようになり、タネの 温度は徐々に上がります。

#### [揚げ油とタネの温度変化]





次から急速に開発した水泥気で、油が渡しく辺立ちます。



タネから表に移動した水分が小さな水源気の地になって 出ています。

油は温まりやすく内のやすい食品で、水の2倍の達さで 温度が上下します。このため、除り油にタネを入れると、 油の温度は発度に低下します。そのおとは、熱理から依 わる熱で油の温度は回便していきますが、熱の一部が次 の水分差角に使われてしまうため、温度の回復は緩やか になります。

タネを入れたあとの温度温度の後さには衣の厚さも影響 し、衣が薄い方が厚い場合よりも温度が強く温度します。 これは、衣の薄い方が水分量が当然のことながら少ない ため、水分道発に奪われる顔が小さくてずむためです。

## 2021年度「未来の教室」実証事業

Z会×専大北上高校:「探究」中心のカリキュラムマネジメント

## 教員自身が「教科を越境」する、対話スタイルの実証

## <教科横断型授業アイディアの例>

- ・国語×数学→証明活動を通した文章表現
- ・社会×数学→社会的事象の統計処理・結果考察
- ·化学×公共→公害、環境
- ·倫理×生物→生命倫理
- ・化学×家庭→調理実習での化学変化
- ・数学×体育→動作解析・バイオメカニクス



## 経産省「STEAMライブラリー」の開発・無償公開

### STEAMライブラリー







- サイト上で、探究テーマについての入門 動画コンテンツを選び、無償視聴可能
- ・指導プランやワークシートも掲載
- ・深堀りした探究を進める上での外部参 考サイトへのリンク等も掲載

### (掲載例)最先端研究を通じたSTEAM探究

制作:ブリタニカジャパン

×東京大学生産技術研究所·産業技術総合研究所· NEDO: 筑波大学附属中学校



モビリティの調和



風力発電





自動運転

スマートハウス





長寿命Oリング







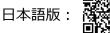








ベジミート - 植物肉の可能性 -制作:ブリタニカ・ジャパン株式会社 ×筑波大学附属中学校









### 理科、家庭科、歴史、政治経済など教科を結びつけて、植物肉市場の現状と今後を考える。

ベジミート: なぜ植物肉が求められているのか

コマ例 ● 植物を中心とした食事と代替肉(特に植物肉)の急速な普及について分析する。確立された 一連の基準を用いて、植物肉のサンプルを評価する。植物肉を提供するレストランを成功さ せるための初期計画を作成する

ベジミート:環境と経済への影響 コマ例

(2)

コマ例

• 植物肉産業について詳しく調べ、植物肉を作るプロセスと、現在使用されている植物肉の生 産技術、また今後期待される生産技術を特定し、説明する。様々な生産方法を評価する。

ベジミート:肉を使わないビジネスのアイデア

• 植物肉を提供するレストランの開業にあたって、考慮すべき社会面・環境面の主な要因を見 つけ出す。事業計画を作成する際に、各ステークホルダー(利害関係者)の立場を考慮する ことの大切さを検討する。レストラン開業における障害を乗り越えるための方法を考える。

活性汚泥の微生物

## 探究シフト・生きる力の時代の、中等教育の「主要 5 教科」とは?

技術・家庭

情報

保健体育

公共

特別活動

英語 国語 数学 理科 社会

## 2020年度~ 未来の教室実証事業 「未来の地球学校」プロジェクト ※「2

※「2025大阪関西万博」との接続を意識したプログラム

2020年度参加校(全日程をオンライン指導)

北海道 旭川農業高校・倶知安農業高校

徳島県・徳島商業高校・吉野川高校

沖縄県 沖縄水産高校・真和志高校

2025年度に向け、2021年度は全国30余校に

### 【ロボティクスプログラム】

- ・農業実習における草刈り・PH測定・観察 などへのロボット活用
- ・市営バスにコロナウイルス消毒噴霧装置
- ・介護用の車いす・自動シャンプーマシン
- ・魚群探知機能のある水陸両用ドローン等

### 【メディアアートプログラム】

・企業HPの作成、席替えアルゴリズム 等



## 越境的なSTEAM探究の事例(ロボティクス)

**北海道旭川農業高校では**農作業の負荷をさげるための「スマート一輪車」の作成に挑戦していたが、農機具溶接などの専門的な技術については、**奈良県王寺工業高校の助けを得て進めた。** 

●北海道旭川農業高校

スマートー輪車で高齢農家を救え! ~簡単・便利!次世代型農機具の開発~ ●奈良県立王寺工業高校

心と身体を守る ペットロボットの提案!









## 2020-2021年度「未来の教室」実証事業 エシカル・ハッカー(正義のハッカー)養成講座



- □サーバーセキュリティ人材「正義のハッカー(エシカル・ハッカー)」を養成する教育 プログラムを構築・実証
  - →社会人向けサイバーセキュリティ研修をカスタマイズ。
- □実証校:明蓬館高校・クラーク国際記念高校・ルネサンス高校・豊田工科高校など →主に、ゲームに夢中で得意な高校生を募集



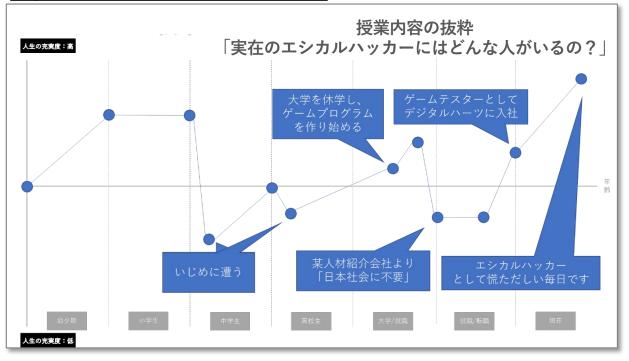


サイバーセキュリティ 研修(社会人向け)

中学・高校生向け キャリア教育



Dav1 職業への理解と関心を深める



### Day2

「ショッピングサイトの脆弱性診断」の仕事の 流れ、顧客企業からの依頼。

→脆弱性診断の結果報告→顧客サイトのサービス修正まで、説明する。

### <u>Day3</u> 「グ

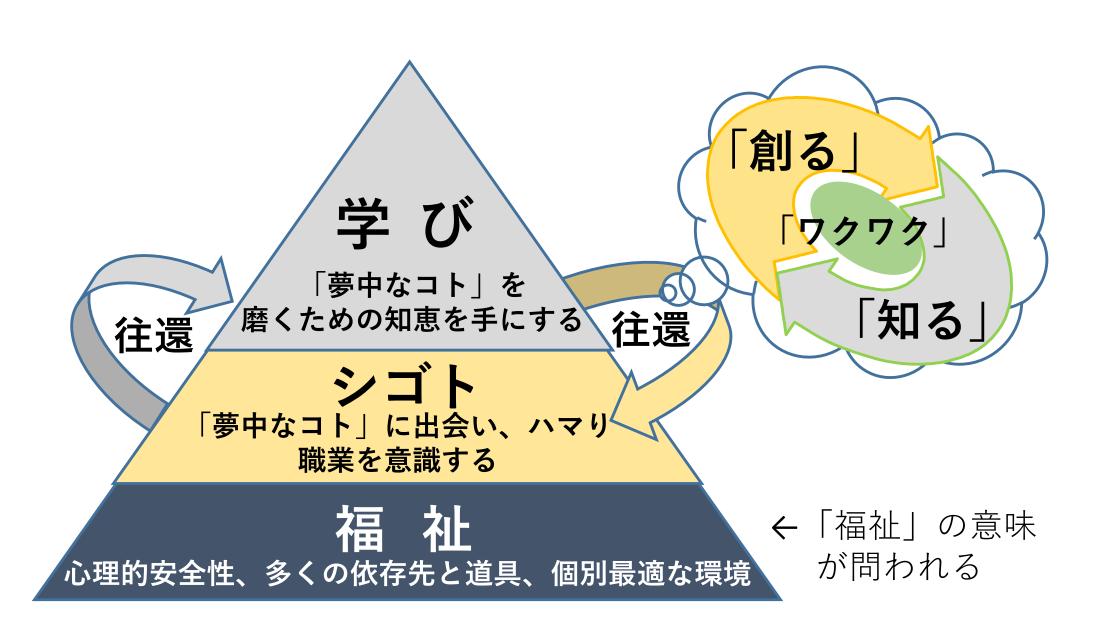
「グループに分かれて依頼書」に基づく診断 業務にチャレンジ。

→これまで得た知識をもとに、「ショッピン グサイトの脆弱性」を発見する。





## 「学びとシゴトと福祉」のピラミッド作りの必要性

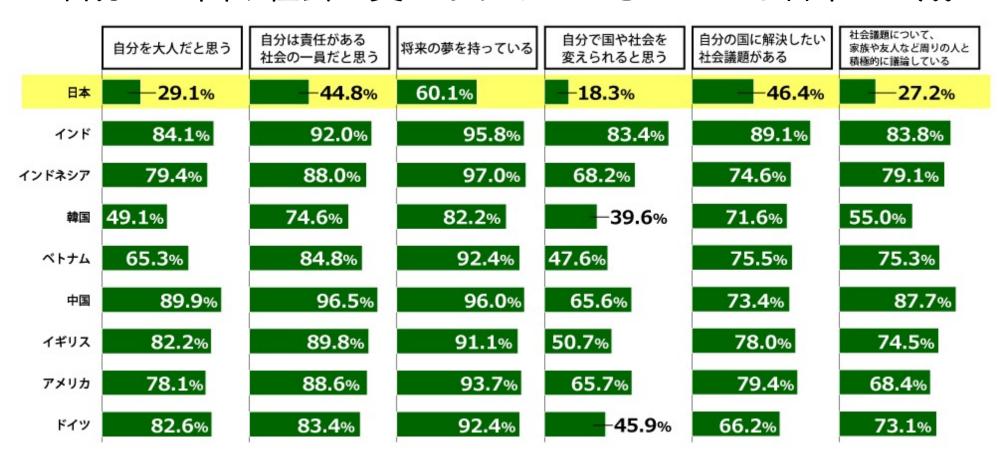


# しかし、今の日本の学校で「探究」は可能なのか?

- ・そこに「**心理的安全性**」はあるか (常識や通説を覆す努力を、面白がってくれるか)
- ・そこで「事柄を抽象化する力」を育めるか(リサーチクエスチョンを立てるのを、助けてくれるか)
- ・そこで「論理をつくる力」は育めるか (証拠を並べて論を立てるのを、助けてくれるか)
- ・そもそも「当事者意識」は育まれるか

これが本当に「日本の18歳像」である場合、 教育が一人ひとりの「主体性・当事者意識」を涵養する場に転換しない限り、 日本は何も解決できず、価値を生み出せない社会になっていくのではないか。

## 自分では国や社会を変えられないと思っている日本の18歳



※日本財団「18歳意識調査『第20回-社会や国に対する意識調査』要約版」(2019年11月30日)をもとに作成

# 「みんなのルールメイキング」プロジェクト (認定NPO法人カタリバとの協業)



- 1. 一番身近なルールである「校則」を論理的につくり直す
  - 一不合理な校則にも「理由がある」中で、ルールを改廃できるか
  - GIGAスクール環境を生かして、全国の学校と外部人材をつないで進める
- 2. 「自分の属する環境を改善し続ける力」を身につける
  - 一黙っていても幸せは与えられない、主体的に仕掛けにいくセンスの獲得
  - ー「お互い、生きたいように生きる」ための合意形成のセンスの獲得

#### 「GIGAスクールの時代」ならではのオンライン協働の風景



## みんなのルールメイキング宣言

#### ■校則・ルールの制定や見直しを進めるうえで大切にしたい9ヶ条

- 1. 一人ひとりが安心して居られ、声に耳を傾け合える環境づくり「心理的安全性」
- 2. 疑問をもった「**私」からはじめる** [発議の権利]
- 3. 「なぜ、この校則・ルールが存在するのか」を確認する [制定の根拠・背景の確認]
- **4. 固定観念**にとらわれない [前提の再考]
- 5. 目的にかなう手段(校則・ルール)を論理的に提案する [目的合理性]
- 6. 論点を明確にして、対話でみんなの納得解をつくる [対話的なルールづくり]
- 7. 関係者が取り組みを見えるようにする [プロセスの可視化]
- 8. できた**校則は公開**する [情報の公開]
- 9. 一度つくった校則・ルールを**見直し続ける** [継続性と改定手続きの制度化]

#### 【大切にしている原則】どんなにおかしなルールにも必ず理由(立法事実)がある。

立法事実を調べる→あらためて目的を抽象化→手段選択の誤りを是正、の手順をふむ。

(例)「ツーブロック禁止の理由=就職に不利」って本当?→ヒアリング→違った→棄却 →廃止

#### 「ツーブロック解禁」賛成・反対をめぐる見解(大槌高校の生徒調べ)

(岩手県立大槌高校・NPO法人カタリバ作成)

	生徒	教職員	保護者	企業		
賛成	<ul><li>・そこまで派手だと思わないから。</li><li>・ツーブロの人を見ていても別に悪い印象を持たないから</li></ul>	ある程度ならば、いわゆる「奇抜」ではない範囲である。	・生え際がすっきりして 良いと思う。次のカット まで間隔も開くので経済 的。 ・義務教育でないからあ る程度自由でも良いと思 う。髪型ぐらい自由でい いのでは。	・役場庁舎内でもツー ブロックには抵抗はない。 (町役場) ・どちらでもない。しかし、変でもないし、 ツーブロックは何も気 にならない。 (釜石市ホテル)		
反対	・面接のときにしては いけない髪は普段から するべきではない	<ul><li>・清潔・さわやかさよりも明らかにオシャレを意識し、勉学に励む準備ができていない。</li><li>・就職先の企業が認めていないのであれば、学校でも認めないことにしないと就職に影響が出る。</li></ul>				

## ルールメイキング活動が停滞する場面の例①

- 1. 生徒が固定観念にとらわれてしまう
- ①特定の立場・意見の過度な一般化

生徒「社会に出たら決まりまりを守らなければならないと聞いたから、学校のルールは変えるべきではないと思った。」

②既存の指導方針への無批判な納得

生徒「先生は私たちのことを考えてルールを作ってくれているのだから、変えるべきではない。」

## ルールメイキング活動が停滞する場面の例②

- 2. 教員から論理性に乏しい反論が出てくる
- ①主観や経験則を社会規範にしてしまう

教員「男子がスカートを履くことは社会では認められていないの だから、学校でもダメ」

②飛躍のある反対意見を提示してくる

教員「お菓子の持ち込みをOKにしたら、3食お菓子で食事をする 生徒が出ないか?」

## ルールメイキング活動が停滞する場面の例③

- 3. 意思決定プロセスを責められる
- ①見直し過程に参加していない教員からの反対

教員「(改定案が承認された後に)自分の担当学年では改正案を受け付けない。これまで通りの指導を行いたい」

②改正案策定までの手続きに対する懐疑

教員:「改正案作成に生徒の巻き込みが足りていない。本当に生 徒が望んでいるか証明されていない」

## ルールメイキングの議論は、職員室に「適度な脅威(ストレス)」を与え、 結果として「高信頼性組織」に近づけたのでは?

- ・ここまで厳しい校則が本当に必要なのかと思っていたが言えなかった【負の同調圧力】 →自由な発言が許容される職場になっていった
- ・周りの先生が厳しくするのを見て、どんどん厳しくなった【負の同調圧力の増幅】 →生徒は統制する対象ではなく、一緒に考える相手に
- ・職員室では「そもそも論」を問えなかった【暗黙のルールの固定化】 →本音を気兼ねなく発言できる雰囲気に

#### 岩手県立大槌高校で校則改定を通じて発生した「職員室の変化」

	初年度	2年目	差分
失敗してもよいという安 全・安心な雰囲気がある	58%	9 5 %	3 7 %↑
人の挑戦に関わらせて もらえる機会がある	5 8 %	9 0 %	3 2 %↑
立場や役割を越えて 協働する機会がある	7 5 %	100%	25%↑
本音を気兼ねなく発言 できる雰囲気がある	5 0 %	7 0 %	20%↑

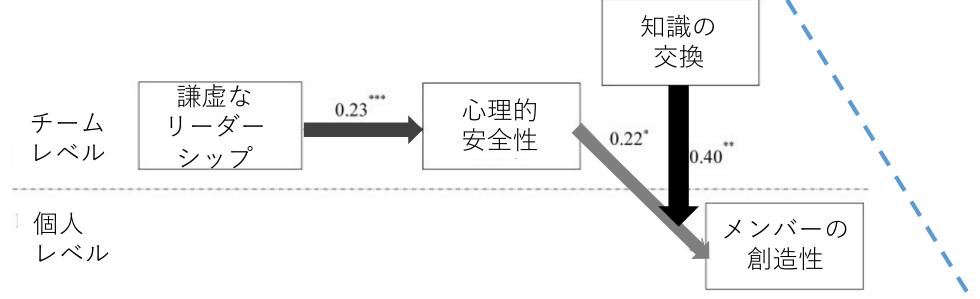
#### 今必要なこと:"高信頼性組織"と"適度な脅威(ストレス)"の共存

#### 高信頼性組織 (High Reliability Organization)に関連する研究 🔪



複雑なシステムを扱い、多様な関係者の要求の中でわずかなミスやトラブルが大きな危機につながる組織が、絶えず変化する状況のなかで「ダイナミックな無風状態(dynamic nonevents)」(Weick and Sutcliffe 2001, 2015)をキープするための方法を研究するもの。例えば、原子力発電所、潜水艦、航空管制、配電施設、銀行、医療等の重要インフラ。

それだけでなく、 適度な脅威 (ストレス) も必要では?



Wang, Y., Liu, J., & Zhu, Y. (2018). Humble Leadership, Psychological Safety, Knowledge Sharing, and Follower Creativity: A Cross-Level Investigation. Frontiers in Psychology, 9, 1727.

【私の見立て】学校と企業に共通する悩み

「手段・方法」のレベルにはまり、「そもそも論」を見失う

レイヤー1

最上位の目標

レイヤー 2 小目標 小目標 小目標 ・・・・・・

 方
 方
 方
 方

 レイヤー4
 法
 法
 法

## 【参考文献】(雑誌・書籍)

### 「なぜ経産省は教育に乗り出したのか」中央公論12月号(2022年11月10日発売)

浅野 大介(著)

## 教育DXで「未来の教室」をつくろう

ーGIGAスクール構想で「学校」は生まれ変われるか (学陽書房)

